

NEWS RELEASE

2008年10月30日

報道関係各位

**【ANA クラウンプラザホテル】 ビジネスパーソンのライフスタイルに関する 1,000 名調査レポート
第 5 回 調査テーマ : 宿泊を伴う出張時の自由時間(夜)の過ごし方**

出張時の自由時間、ビジネスパーソンは若い人ほどマイペース

- 出張時の自由時間(夜)は部屋で「テレビ」、「インターネット」、「仕事」、「読書」
- 出張時の夕食は1人で食べる人が多い(同僚といった場合:19.2%、上司といった場合:23.7%)
- 約7割はコンビニエンスストアやファーストフードで済ませてしまうことがある

出張時の自由時間(夜)は仕事とは区別され、自由に過ごすことができる時間のはず。出張時のビジネスパーソンの過ごし方の現状はどうなっているのか。ANA クラウンプラザホテルの調査によると、若い世代ほどホテルでマイペースに過ごすことを選ぶビジネスパーソンが増えることが明らかになりました。

ANA クラウンプラザホテルは、このたび、20代~40代のビジネスパーソン(男女)、1,238名を対象に実施し、出張時の自由時間(夜)の過ごし方についてのアンケート調査を実施しました。

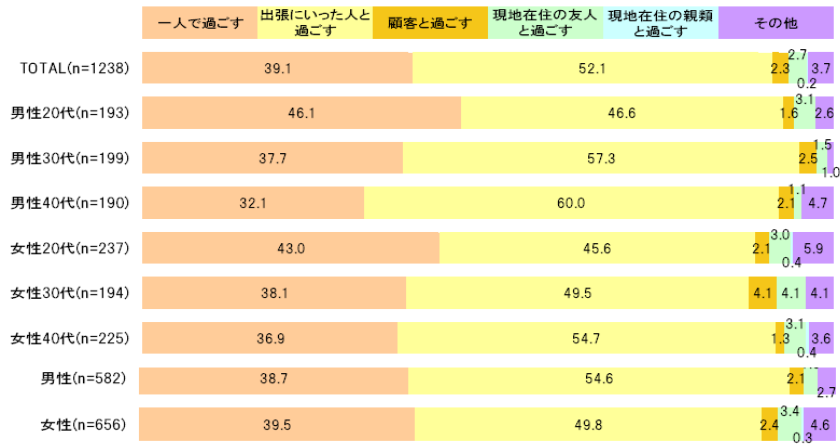
まず、出張時の夕食をどのように摂るか質問すると、1人で行く出張の場合、1人で夕食を摂るのは約8割。出張時の夕食を誰と一緒に食べるか聞いたところ、同僚・部下と出張に行った場合、4人に3人が同僚・部下と食べる一方で、1人で食べる人が約2割。上司と出張に行った場合、上司と夕食を食べる人が減る(68.8%)かわりに、1人で食べる人が23.7%と増加しており、一緒に出張に行った人と夕食を摂るものだという意識はあまり強くなさそうです。

なお、コンビニやファーストフードで済ませてしまうことがある人は約7割で、その理由は「安くすむから」、「時間がもったいないから」、「仕事をする」など、出費や時間を節約する意識が高いことが分かりました。実際、ホテルでお客様へのサービスを日々対応しているANA クラウンプラザホテルのゲストリレーション担当者によると「一人の方はチェックイン後コンビニへ向かわれる方が多い」といった証言もあります。

また、夕食後の自由時間の過ごし方について聞いたところ、同僚・部下と出張に行った場合、約6割の人が同僚・部下と一緒に過ごす一方で、約3割の人が1人で過ごすと回答。さらに、上司と出張に行った場合は、1人で過ごす人が約4割に増えることが明らかになりました。夕食後の自由時間の過ごし方を年代別にみると、年齢が高くなるほど出張に行った人と過ごす割合が多く、20代と40代を比較すると20代は1人で過ごす人が44.5%にのぼり、40代と比べると15ポイントも上回っています。若い人ほど同僚や上司との付き合いを優先せず1人で過ごすことを好む現在の世相を反映するような結果となりました。

この結果について明星大学人文学部の天野徹教授(社会学)(注1)は、「旅行経験もコミュニケーション手段も豊富な若い世代ほど、出張だからと言って派手に楽しもうとは考えず、出張先でも自分だけのプライベートな時間を設定し趣味などに生かしたいと考える」と説明します。

【出張時の自由時間(夜)を誰と過ごすか(上司と出張に行った場合)】



それでは夕食後の自由時間は何をして過ごすことが多いのでしょうか。出張時の自由時間の過ごし方について聞いたところ、ホテルで過ごす人が多いことがわかりました。その内訳をみると、テレビを見る人が4人に3人、ついで早めに睡眠をとる人が半数以上、その他に多いのはインターネット、仕事、読書。一方で、ホテルの外ですることは飲酒・飲食(24.9%)以外はあまりありませんでした。ANAクラウンプラザホテルのゲストリレーション担当者によれば、「チェックインが早め」、「チェックイン後の余った時間に外に遊びに出られる様子は少ない」、「(グループ利用の場合でも)個人での到着が多い」、「企業の役員クラスでもあまり遅くならない方が以前より増えた」といった傾向が見られ、ホテルで過ごす時間が多く、行動も個人単位が増えていることがうかがえます。

しかしながら、睡眠時間は、4~6時間未満が44.9%、6~8時間が48.9%と、ビジネスパーソンの平日の睡眠時間の平均とあまり差異はないことから、一緒に行った人と食事や自由時間をともに過ごそうとせず、ホテルで1人でテレビを見たり仕事をしたりして、眠くなったら普段どおり寝る、というマイペースなビジネスパーソン像が明らかになった調査結果でした。

前出の天野教授は、「1人の時間とは自分でコントロールできる時間。いわば“時間の主(あるじ)”になれるため、自分のペースを守ることができる。これはすばらしいことですが、自分が時間の主になると、行動が自分の知っている選択肢の範囲に限定されます。この点を理解して、自分の時間を大切にしつつ、時には自分がコントロールできない予測不能な展開を楽しむ姿勢も持ちたいものです」と語ります。

1人の時間を大切にすれば、趣味などを楽しむことができます。しかし、その一方で、上司や同僚と飲みに行くような予測不能な時間の中では、偶然、新たなチャンスをつかんだり、新しいアイデアに巡り会ったり、新しい自分の姿を見せたりする可能性が生まれることも確かです。仕事の付き合いと個人の時間のバランスを上手に取れば、一層充実した日々を送ることができるのではないのでしょうか。

この調査は、ANAクラウンプラザホテルにおいて、客室の環境やサービス内容等に、一般消費者の動向をタイムリーに反映するために実施しました。ANAクラウンプラザホテルは、今後も消費者の日常生活における悩みやニーズについて研究し、ホテルでのサービスの改善や開発に努めます。

以上

添付資料：調査レポート(宿泊を伴う出張時の自由時間(夜)の過ごし方)

【調査実施概要】 調査対象、調査方法: Yahoo!リサーチ登録モニター、非公開型インターネット調査
 調査期間:平成20年9月12日(金)~平成20年9月16日(火)
 有効回答数と回答者の属性:1,238名、ビジネスパーソン
 【年齢】20-29歳31.7%、30-39歳34.5%、40-49歳33.8%【性別】男47.0%、女53.0%

注1) 明星大学人文学部人間社会学科 教授 天野徹 プロフィール:

江戸川大学社会学部助手、専任講師、助教授を経て、現在は明星大学人文学部教授。その間、早稲田大学非常勤講師、放送大学非常勤講師、首都大学東京非常勤講師、東京芸術大学大学院非常勤講師等を兼任した。専門は、社会調査、社会統計学、社会情報学および都市社会学。近年は、液状化社会における日本人および日本社会の変化についての考察および実証的研究を進めている。



ANA クラウンプラザホテルについて

ANA クラウンプラザホテルは、IHG・ANA・ホテルズグループジャパンが運営する、ANA ホテルとクラウンプラザの共同ブランドホテルとして、現在、日本全国 6 都市(千歳、富山、金沢、成田、広島、那覇)に展開し、合計約 2,000 室以上を保持しています。2008 年には、大阪全日空ホテルが ANA クラウンプラザホテル大阪(10 月 1 日)、ホテル新潟が ANA クラウンプラザホテル新潟(12 月 1 日)、博多全日空ホテルが ANA クラウンプラザホテル福岡(12 月 4 日)として共同ブランド化され、さらに日本各地にネットワークが広がる予定です。

ANA クラウンプラザホテルでは、日本でのブランド構築にあたり 2,000 名の消費者調査を実施するなど、消費者ニーズをタイムリーに把握し、サービスに反映させることを心がけている、お客様を大切にするホテルブランドです。また今後は、ウェディングや宴会等を含むイベント全般を強化し、MICE (Meeting, Incentive, Conference, and Event) 市場等の新たな市場ニーズに対してより充実したサービスを提供してまいります。

クラウンプラザ ホテルズ & リゾーツは、世界有数のホテルグループであるインターコンチネンタル ホテルズ グループが運営する高級ホテルブランドの 1 つです。会議と宿泊を合わせた、ビジネスとレジャー両方の利用目的に適したハイレベルの快適さや施設、サービスを兼ね備えています。ニューヨーク、ミラノ、ロンドンをはじめ現在、世界約 50 カ国以上で 320 ホテルが運営され、さらに 130 ホテルが開業準備中の、特にアジアで急速に成長しているホテルブランドです。

URL : www.anacrownplaza.com

ANA クラウンプラザホテル ライフスタイルに関するオリジナル調査ウェブサイト:

ビジネスパーソンのライフスタイルに関する 1,000 名調査シリーズのダイジェスト版を掲載しています。

<http://www.anacrownplaza.com/ana-cp/report/latest/index.html>

本件に関するお問い合わせ先:

IHG・ANA・ホテルズグループジャパン

広報 潮 孝子

Tel: 03 3505 9626 Fax: 03 3505 2359

Takako.uschio@ihganahotels.com

添付資料： 調査レポート(宿泊を伴う出張時の自由時間(夜)の過ごし方)

主な分析結果：

- 出張時の夕食は、同僚・部下と出張に行った場合、4人に3人が同僚・部下と食べる一方で、1人で食べる人が19.3%。上司と出張に行った場合、上司と夕食を食べる人が減る(68.8%)かわりに、1人で食べる人が23.7%と増加しており、上司が避けられている現実がうかがえる。
- 夕食後の自由時間の過ごし方については、同僚・部下と出張に行った場合、61.5%が同僚・部下と一緒に過ごす一方で、1人で過ごす人が30.8%。上司と出張に行った場合、上司と一緒に過ごす人が約10ポイント減る(52.1%)かわりに、1人で過ごす人が39.1%と増加しており、夕食後の過ごし方についても上司が避けられている現実がうかがえる。夕食を一緒に食べる割合と比較すると、10ポイント以上1人で過ごす人が増加。
- 出張時の夕食をコンビニやファーストフードで済ませてしまうことがある人は約7割。その理由としては「安くすむから」「時間がもったいないから」「仕事をする」と答える人が多い一方で、「部屋でのんびり過ごしたいから」と答える人もいた。
- 夕食後の自由時間の過ごし方を年代別にみると、同僚・部下の場合でも上司の場合でも、年齢が高くなるほど出張に行った人と過ごす傾向。
- 1人で出張に行った場合、男性と比べ女性のほうが現地在住の友人と夕食を一緒に食べる、自由時間を現地の友人と過ごす。
- 出張時の自由時間はホテルで過ごす人が多い。内訳をみると、テレビを見る人が4人に3人、ついで早めに睡眠をとる人が半数以上、その他にはインターネット、仕事、読書をする人が多い。ホテルの外ですることは飲酒・飲食(24.9%)以外はあまりないようだ。
- 出張時の自由時間のうち睡眠をとる時間は、4～6時間未満が44.9%、6～8時間が48.9%となっており、ビジネスパーソンの平日の睡眠時間とかわらない。

参考：ライフスタイルに関するオリジナル調査 Vol. 1「現代ビジネスパーソンの睡眠調査」

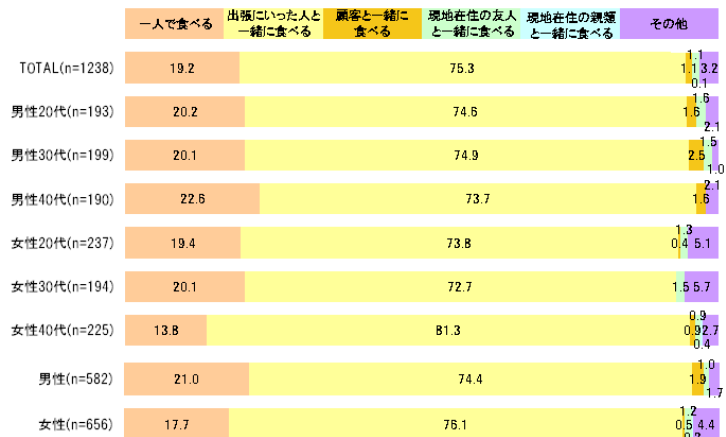
(<http://www.japan.crowneplaza.com/ana-cp/report/01/index.html>)

調査結果データ:

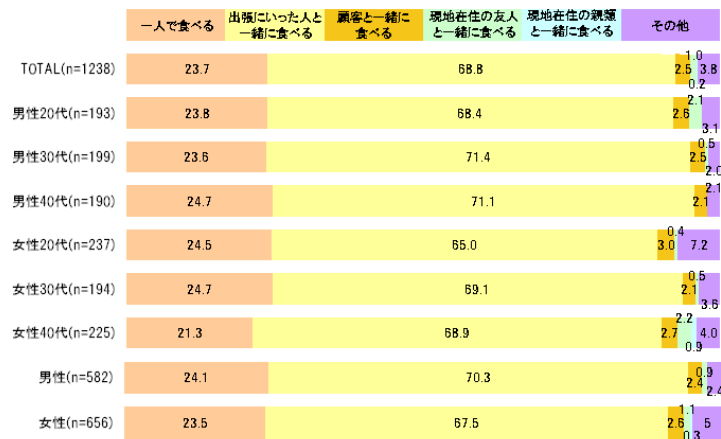
【出張時の夕食を誰と一緒に食べるか(1人で出張に行った場合)】



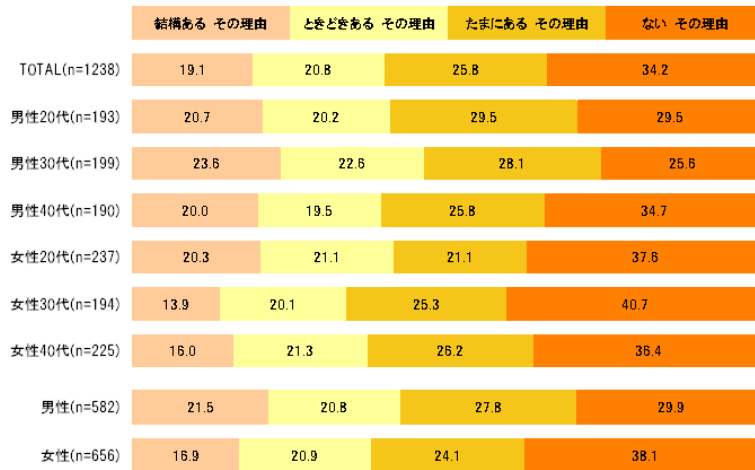
【出張時の夕食を誰と一緒に食べるか(同僚・部下と出張に行った場合)】



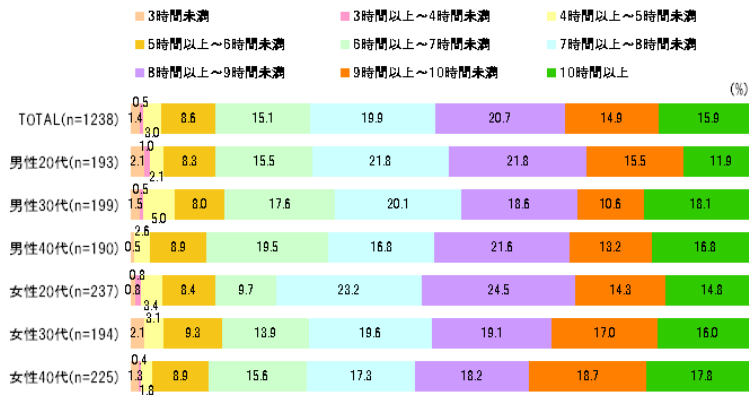
【出張時の夕食を誰と一緒に食べるか(上司と出張に行った場合)】



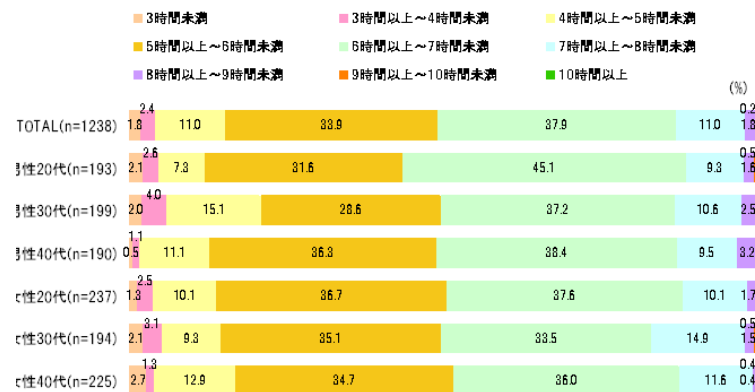
【出張時の夕食をコンビニエンスストアやファーストフードで済ませてしまうことがあるか】



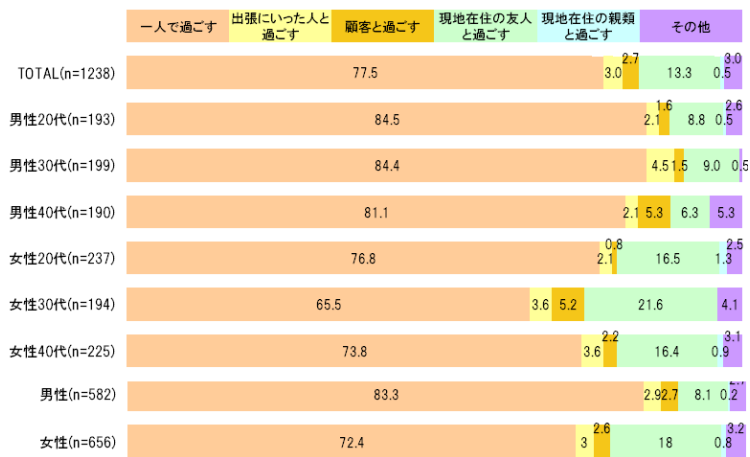
【出張時の夜の自由時間】



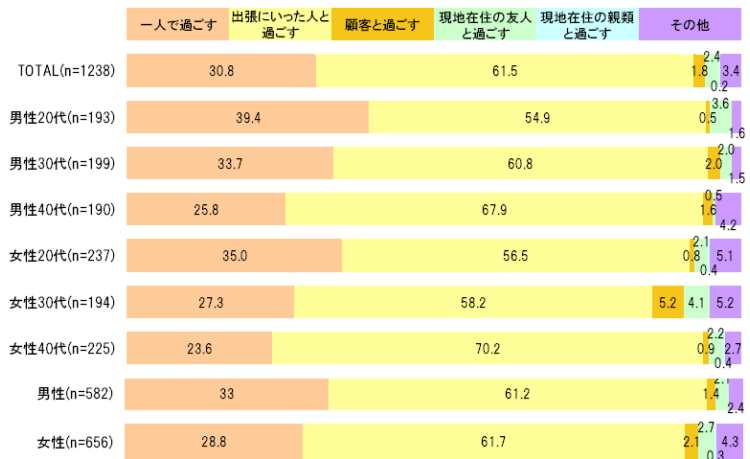
【出張時の睡眠時間】



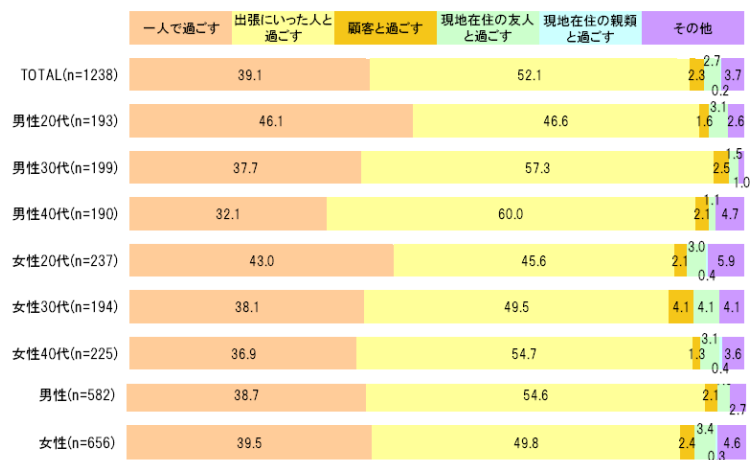
【出張時の自由時間(夜)を誰と過ごすか(一人で出張に行った場合)】



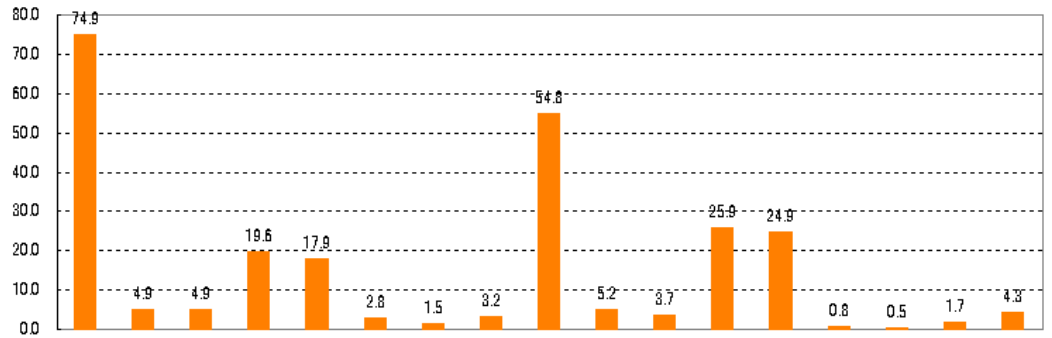
【出張時の自由時間(夜)を誰と過ごすか(同僚・部下と出張に行った場合)】



【出張時の自由時間(夜)を誰と過ごすか(上司と出張に行った場合)】



【出張時の自由時間(夜)はどのように過ごすことが多いか】



	ホテルでテレビを見る	ホテルでビデオ・DVDを見る	ホテルで音楽を聴く	ホテルで仕事を済ます	ホテルで読書をする	ホテルで勉強をする	ホテルで運動(ジムなど)をする	ホテルでゲームをする	ホテルで睡眠をとる	ホテルのバーやラウンジで飲酒・飲食をする	ホテルで電話をする	ホテルでインターネットをする	ホテルの外で飲酒・飲食をする	カラオケをする	ダーツやビリヤードをする	パチンコやパチスロをする	その他	
n=	1,238	74.9	4.9	4.9	19.6	17.9	2.8	1.5	3.2	54.8	5.2	3.7	25.9	24.9	0.8	0.5	1.7	4.3
TOTAL	1,238	74.9	4.9	4.9	19.6	17.9	2.8	1.5	3.2	54.8	5.2	3.7	25.9	24.9	0.8	0.5	1.7	4.3
男性20代	193	72.0	5.2	8.3	17.1	15.5	1.6	1.0	7.3	53.4	4.1	5.7	26.4	22.3	0.0	1.6	2.6	4.1
男性30代	199	73.9	8.0	1.5	25.6	8.0	2.5	1.0	4.0	45.2	6.5	1.5	35.2	27.6	0.5	1.0	5.0	2.0
男性40代	190	74.7	10.5	1.6	21.6	20.0	1.6	1.1	1.1	44.7	5.8	0.0	39.5	27.4	1.6	0.0	2.1	4.7
女性20代	237	76.8	1.3	9.3	15.2	16.0	2.1	0.0	3.0	63.7	3.8	9.7	13.9	25.3	1.3	0.4	0.4	3.8
女性30代	194	72.2	1.5	5.2	19.1	18.0	4.6	2.1	2.6	59.8	5.2	3.1	19.1	28.4	1.5	0.0	0.5	5.2
女性40代	225	78.7	4.0	3.1	20.0	28.4	4.4	3.6	1.8	59.6	5.8	1.3	24.4	19.1	0.0	0.0	0.0	5.8
男性	582	73.5	7.9	3.8	21.5	14.4	1.9	1.0	4.1	47.8	5.5	2.4	33.7	25.8	0.7	0.9	3.3	3.6
女性	656	76.1	2.3	5.9	18.0	20.9	3.7	1.8	2.4	61.1	4.9	4.9	19.1	24.1	0.9	0.2	0.3	4.9

###